

日立ダイアグモニタ HDM-8000 ユーザー様

日立 Astemo アフターマーケットジャパン株式会社

HDM-8000 ソフトのバージョンアップのご案内

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。診断ソフトをバージョンアップいたしましたので、下記の通りご案内申し上げます。

敬具

記

1. バージョンアップ内容

(1) 機能追加/対応車種追加など

ソフト	バージョン	バージョンアップ内容概略	詳細情報 参照先
三菱	6.30	対象車両の追加、作業サポート機能の追加を行いました。	9 ページ
日野	3.80	エーミング関連の作業サポートを追加しました。	10 ページ
MERCEDES	3.90	対象車両の追加、作業サポート機能の追加を行いました。	11 ページ

(2) 修正対応

下表のソフトについて修正対応を行いました。

ソフト	バージョン	修正内容
ホンダ	4.16	フィット HV(GP-1)にて IMA の作業サポートが表示されない不具合を修正しました。
BMW	5.26	ADAS システムの不具合を修正しました。

2. バージョンアップ手順

2 ページ目からの手順をご参照のうえ、バージョンアップを行ってください。

3. リリース時期

2023年7月26日 19時から、お手元の HDM-8000 へのダウンロードとインストールが可能です。

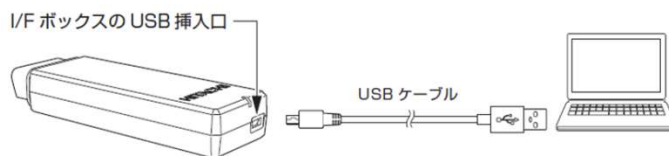
以上

HDM-8000 アプリと診断ソフトのバージョンアップ手順

本手順を実行いただくと全ての診断ソフトとタブレット側アプリが最新版にバージョンアップされます。個別の診断ソフト、アプリ毎で本手順を行う必要はございません。

【手順 1】

本体キット付属の USB ケーブルで、HDM-8000 インターフェイスボックスとパソコンを接続してください。



【手順 2】

上記の【手順 1】を行った後、パソコンに表示される内容と下表を照会のうえ、いずれかの手順を行ってください。

パソコンの画面上に表示された内容	次の手順
「自動再生」が表示される	本ページの【手順 A】を行ってください
「スキャンして修復しますか？」という様なメッセージが表示される	本ページの【手順 B】を行ってください
「自動再生」が表示されない	7 ページの【手順 C】を行ってください
「編集ボタンから個人情報保護・・・」のメッセージが表示される	8 ページの【手順 F】を行ってください

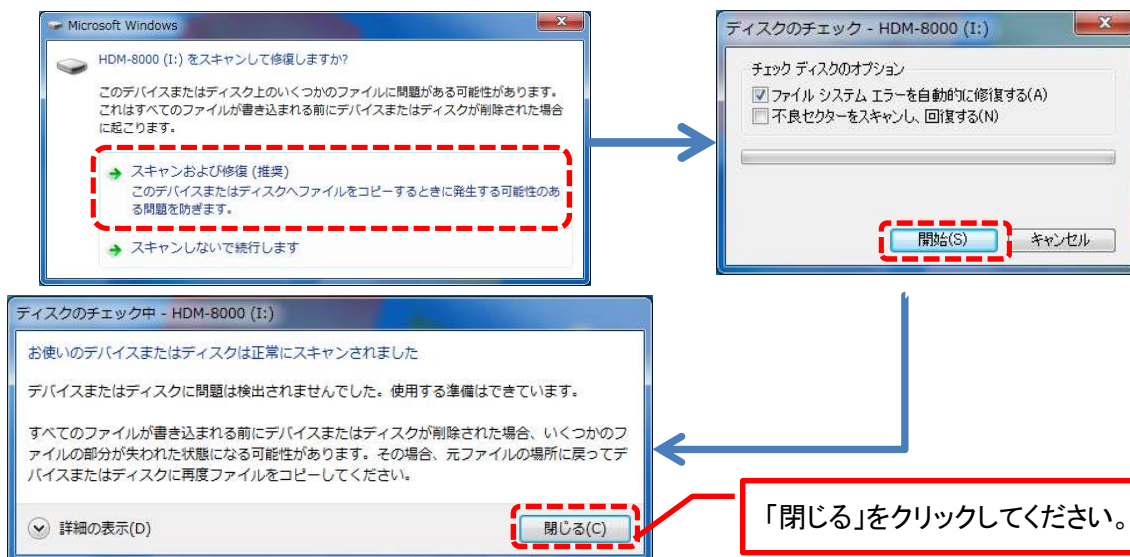
【手順 A】

「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックするとフォルダーが開きますので、フォルダー内にある「HDM8000.exe」のアイコンをクリックしてアップデートツールを起動してください。その後、3 ページの【手順 3】へ進みます。



【手順 B】

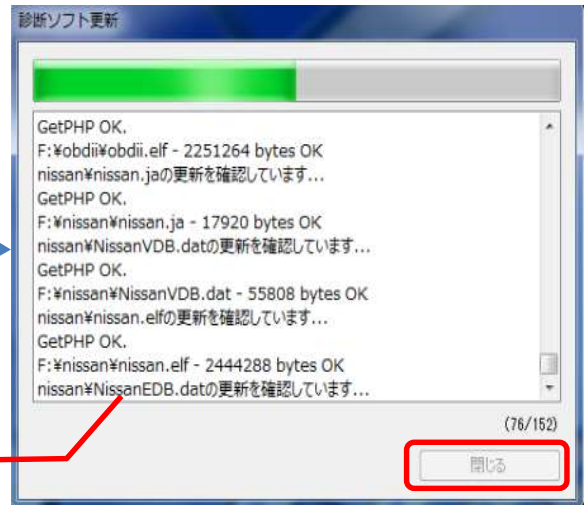
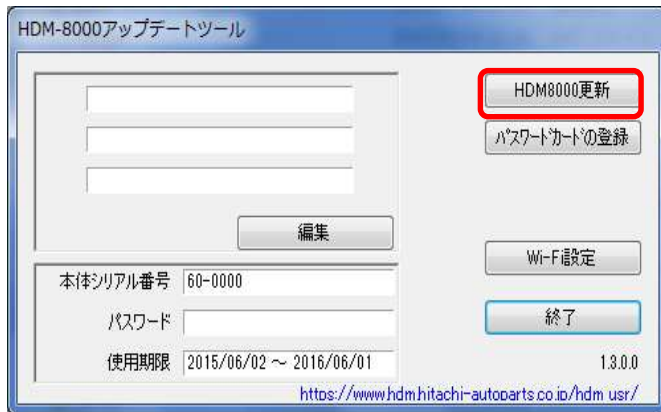
表示内の「スキャンおよび修復（推奨）」をクリックしてください。その後、「ディスクのチェック」が表示されましたら「開始」をクリックしてください。最後に「正常にスキャンされました」が表示されましたら【手順 A】に進みます。



（次ページに続く）

【手順 3】

アップデートツールの「HDM8000 更新」をクリックしてください。最新の診断ソフトとタブレット側アプリがダウンロードされます。診断ソフト更新内に「アップデート完了」が表示されましたら、「診断ソフト更新」の右下にある「閉じる」をクリックしてください。



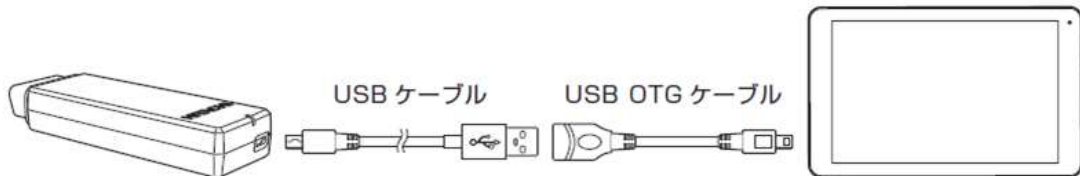
全てのソフトとアプリのダウンロードが完了するとこの欄の最下部に「アップデート完了」が表示されます。

【手順 4】

アップデートツールの終了ボタンをクリックし、次に HDM-8000 フォルダを閉じてください。その後、パソコンのタスクバーに表示されている USB のアイコンをクリックして「ハードウェアの安全な取り外し」を実行してから、インターフェースボックスをパソコンから取り外してください。

【手順 5】

タブレットの電源を起動し、下図の様に USB ケーブルと OTG ケーブルでインターフェースボックスとタブレットを繋げてください。



【手順 6】

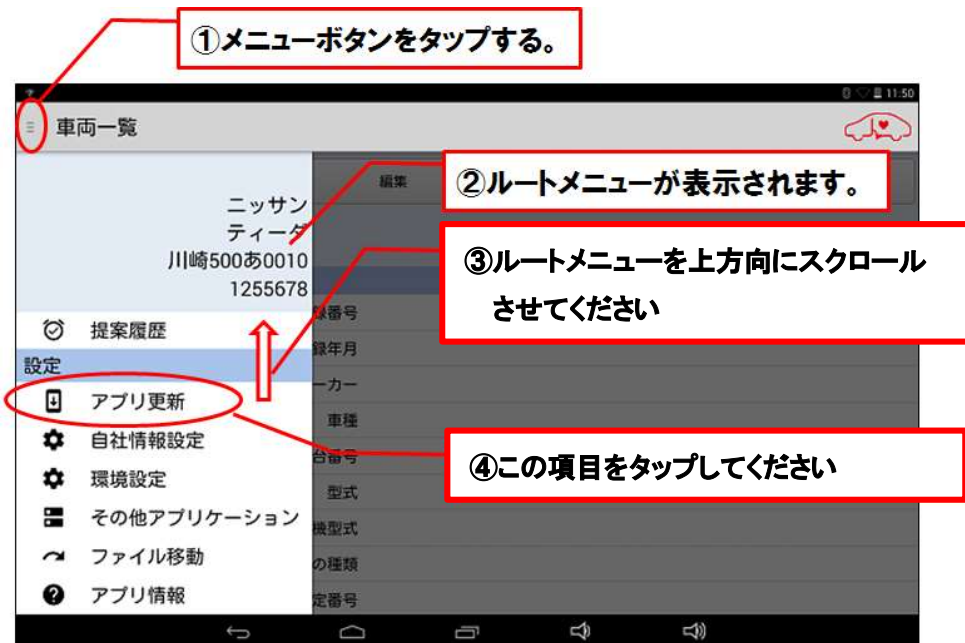
タブレットとインターフェースボックスを接続後、15 秒程度で「SD カードの準備中」が画面左上に表示されます。



(次ページに続く)

【手順 7】

下図の手順でルートメニューを表示させ、「アプリ更新」をタップしてください。



【手順 8】

上記【手順 7】を行った後のタブレット側の表示と下表をご照会のうえ、手順 D か E のいずれかを行ってください。

タブレットの画面の表示内容	次の手順
各アプリのアップデート画面が表示されている	本ページの【手順 D】を行ってください
「既に最新バージョンがインストールされています」が表示されている	次ページの【手順 E】を行ってください

【手順 D】

- ① 画面右下の「インストール」をタップしてください。アップデート版アプリのインストールが開始されます。
- ② 「アプリをインストールしました」が表示されましたら、画面左下の「完了」をタップします。
- ③ その他のアプリのアップデート画面が表示されますので、上記①～②の操作を繰り返し行ってください。
- ④ 「アプリケーションの更新が完了しました。」が表示されましたら「終了」をタップして 5 ページの【手順 9】に進みます。



※：アップデート版アプリのインストールが完了すると画面左下の「キャンセル」が「完了」に変わります。

(次ページに続く)

【手順 E】

「終了」のボタンをタップして【手順 9】を行った後、
【手順 11】に進みます。
※【手順 10】の実行は不要です。

既に最新バージョンがインストールされています。

定期的に応用プログラムの
更新チェックを実施してください。

終了



【手順 9】

下図の手順で設定画面を表示させてください。



【手順 10】

- ① 設定画面の左側のメニューにある「アプリ」をタップしてください。
- ② 「健康診断アプリ」をタップして「バージョン 1.55」、「故障診断アプリ」をタップして「バージョン 1.59」と表示されていれば【手順 11】に進みます。これよりもバージョンが古い場合は再度【手順 7】に進みます。



(次ページに続く)

【手順 11】

下図の手順で「Unmount USB storage」を表示させてください。

① 左側のメニュー内の「ストレージ」をタップします。

② 右側のメニューを上方向にスクロールさせてください。



③ Unmount USB storage が表示されます。

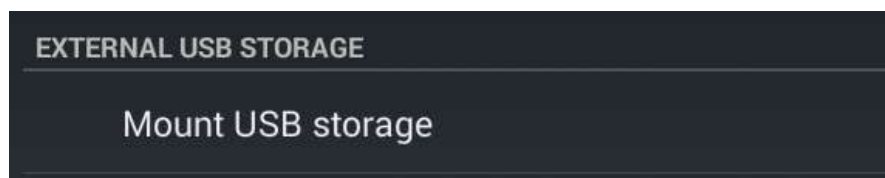
【手順 12】

「Unmount USB storage」をタップすると下図が表示されますので、「OK」をタップしてください。



【手順 13】

「USB storage will be unmounted」というメッセージが表示された後、画面右側に表示されていた「Unmount USB storage」が下図の表示になりましたら、タブレットからインターフェイスボックスを取り外してください。



以上で完了です。

【手順 C】自動再生が実行されない場合

パソコンによっては、ウイルスソフトが自動的に実行されるのを防止するため、USB メモリーなどが接続された際の自動再生が設定されていない場合がございます。

自動再生が実行されない場合は以下の手順で HDM-8000 インターフェイスボックス内部の「HDM-8000.exe」を起動してください。

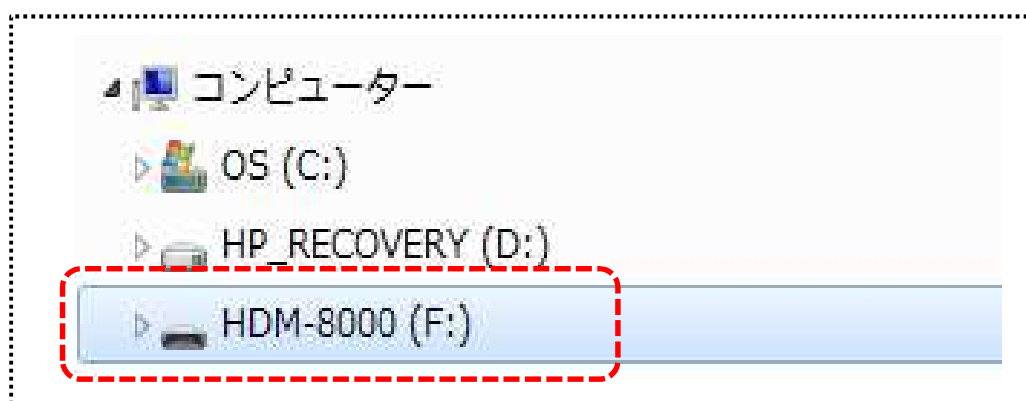
【手順 1】

パソコンの画面下部にあるタスクバーに表示されている「エクスプローラ」をクリックしてください。



【手順 2】

「エクスプローラ」が起動します。画面の左側にある「コンピューター」に「HDM-8000」が表示されておりましたら、「HDM-8000」をクリックしてください。



【手順 3】

HDM-8000 のインターフェイスボックス内のファイルが表示されます。「HDM-8000.exe」をクリックして、アップデートツールを起動してください。その後、3 ページの【手順 3】に進みます。

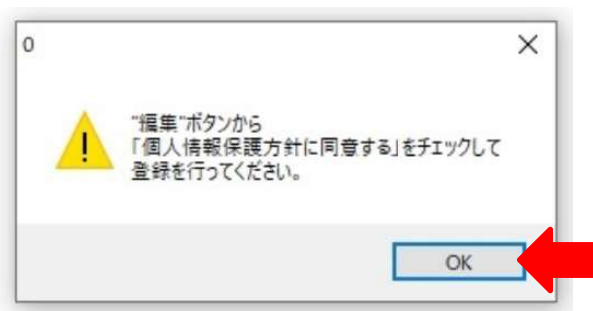
【手順 F】弊社の個人情報取扱方針の確認のお願い

2022年2月24日付で弊社の個人情報取扱方針（ユーザー登録情報の取扱と利用目的の規約）を改定いたしましたので、弊社ではアップデートツールを介して、各ユーザー様に内容をご案内しております。

個人情報取扱方針のご確認、ご同意をお願いするメッセージが表示されましたら【手順 1】～【手順 3】の操作を行っていただきたく、何卒、宜しくお願い申し上げます。

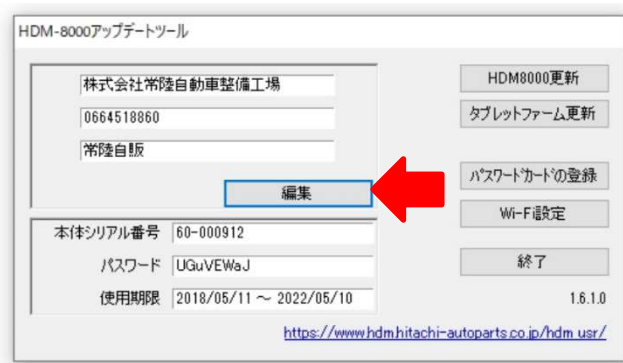
【手順 1】

左図のメッセージの「OK」（赤矢印の箇所）をクリックしてください。



【手順 2】

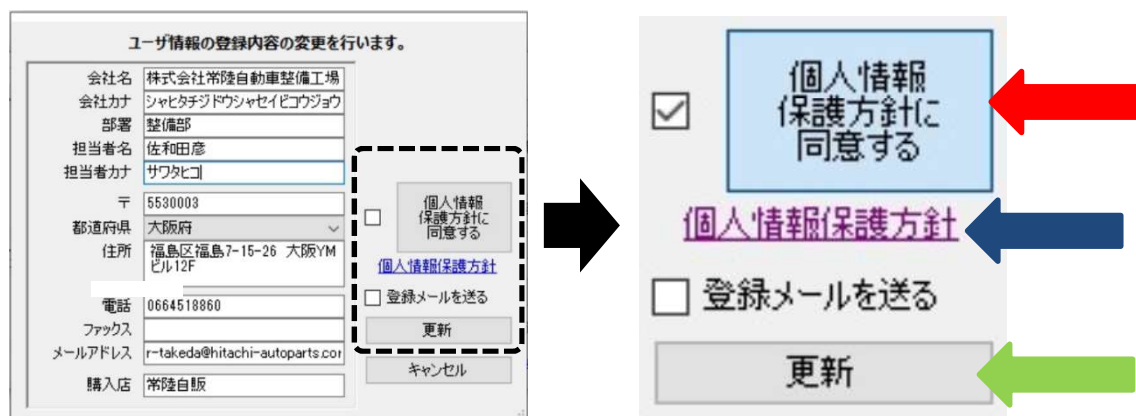
アップデートツールの「編集」（赤矢印の箇所）をクリックしてください。



【手順 3】

「ユーザー情報の登録内容の変更を行います」が表示されます。下記の①～④を行ってください。

- ① 「個人情報保護方針」（下図の青矢印の箇所）をクリックして、文字の色を反転させてください。
- ② ブラウザ上に個人情報取扱方針の PDF が表示されます。内容をご確認ください。
- ③ 内容を確認後、「個人情報保護方針に同意する」のボタン（下図の赤矢印の箇所）をクリックし、左の空欄にチェックを入れてください。
- ④ 「更新」のボタン（下図の緑の矢印の箇所）をクリックして完了です。2 ページ目の第 3 項の操作を行ってください。



以後、弊社が個人情報取扱方針の変更を行った場合を除き、【手順 1】のメッセージは表示されません。

日立ダイアグモニタ HDM-8000 ユーザー様

日立 Astemo アフターマーケットジャパン株式会社

三菱ソフト・バージョンアップのご案内 (Ver.6.30)

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。
三菱ソフトをバージョンアップいたしましたので、下記の通りご案内申し上げます。

敬具

記

1.対象車両追加

2022年モデルの下記車両を追加しました。

- アウトランダー(GN#)
- エクリプス クロス (GL#)
- エクリプス クロス (GK#)
- デリカ D:5
- ミニキャブ・ミーブ
- ミラージュ
- EK クロス / EK ワゴン (B3#) (DAYZ (B4#)含む)
- EK クロススペース / EK スペース (B3#) (ROOX (B4#)含む)
- RVR

2.作業サポート機能の追加

下表の通り追加しました。

システム	機能
LASER/RADAR	光軸調整
サイドレーダー (左後)	サイドレーダー調整
サイドレーダー (右後)	サイドレーダー調整

3.診断対象システムの追加

2022年モデル車の以下システムの自己診断、フリーズフレームデータ、実測値に対応しました。

システム	自己診断	フリーズフレームデータ	実測値
FCM/LDW/LKA/AHB	○	○	○
8ch CANゲートウェイ	○	○	
パワーゲート	○		○
運転席オートドライビングポジション	○	○	○
AUDIO AMP.	○	○	○
MULTI AV	○	○	○
IVC	○	○	○
ワイヤレス充電	○		○
サイドレーダー (左後)	○	○	○
サイドレーダー (右後)	○	○	○
助手席オートドライビングポジション	○	○	○
DCDC	○	○	○
HVAC2	○	○	○
PDU	○	○	○
EBA	○	○	○
VSP	○	○	○
CSCM	○	○	

以上

日立ダイアグモニタ HDM-8000 ユーザー様

日立 Astemo アフターマーケットジャパン株式会社

日野ソフト・バージョンアップのご案内 (Ver.3.80)

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。
日野ソフトをバージョンアップいたしましたので、下記の通りご案内申し上げます。

敬具

記

1. エーミング関連の作業サポート機能の追加

下表の通り追加しました。

システム	追加機能
FCM:前方画像認識センサー(7型)	<ul style="list-style-type: none"> ●LDWS光軸調整画面 ●FOEリセット ●ヨーレート0点学習 ●仕様情報切り替え ●カメラ履歴リセット
FCM:前方画像認識センサー(6型)	<ul style="list-style-type: none"> ●LDWS光軸調整画面
FCM:前方画像認識センサー(KNORR)	<ul style="list-style-type: none"> ●画像センサ軸調整
前方ミリ波レーダー	<ul style="list-style-type: none"> ●ビーム軸検査 ●前方レーダービーム軸調整 ●前方レーダービーム軸調整量確認 ●前方レーダーGセンサ学習 ●ビーム軸調整 ●車両情報更新
前方ミリ波レーダー(KNORR)	<ul style="list-style-type: none"> ●レーダー軸調整
プリクラッシュ	<ul style="list-style-type: none"> ●前方レーダー光軸調整 ●前方レーダー光軸ずれ量確認 ●前方レーダー光軸補正量確認 ●制御モード移行 ●履歴消去

以上

日立ダイアグモニタ HDM-8000 ユーザー様

日立 Astemo アフターマーケットジャパン株式会社

MERCEDES ソフト・バージョンアップのご案内 (Ver.3.90)

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。
MERCEDES ソフトをバージョンアップいたしましたので、下記の通りご案内申し上げます。

敬具

記

1.対象車種の追加

下記車両を追加しました。(車体番号の頭3桁が「W1K」、「W1N」、「W1V」の車両)

- GLA クラス(247)
- GLB クラス(247)

2.作業サポート機能の追加

機能別の追加対象車両は下表の通りです。(車体番号の頭3桁が「W1K」、「W1N」、「W1V」の車両)

機能	車両
メンテナンス(サービスインターバル) [トータルメンテナンスのリセット/前回のトータルメンテナンスに戻す]	● GLAクラス(247) ● GLBクラス(247)
EPB 取付け位置	● Cクラス(205) [後期モデル] ● Eクラス(213/238) ● GLAクラス(247) ● GLBクラス(247) ● GLCクラス(253) ● GLEクラス(167) ● GLSクラス(167) ● Sクラス(217/222) [後期モデル]
バッテリー交換の確認	● Eクラス(213/238) ● GLAクラス(247) ● GLBクラス(247) ● GLEクラス(167) ● GLSクラス(167)
ディストロニック(DTR) センサー調整	● Gクラス(463.(260/276/349/350) [2018/06 ~] ● GLAクラス(247) ● GLBクラス(247)
カメラ(MFK)キャリブレーション	● GLAクラス(247) ● GLBクラス(247)

以上